

令和6年度 年間指導計画 3学年【数学科】	指導担当	村上・坂元・湯本
-----------------------	------	----------

月	単元・題材 指導目標 ()は時数	観 点	評 価 材 料
4月 5月	単元1 「式の計算」(18) ・多項式の計算 ・因数分解 ・式の計算の利用 文字を用いた簡単な多項式について、式の展開や因数分解ができるようにし、目的に応じて式を変形したりその意味を読み取ったりする能力を伸ばす。	観点1 知識・技能 単項式と多項式の乗法・除法の計算ができ、展開の公式、因数分解をすることができる。 観点2 思考・判断・表現 式の展開や因数分解を具体的な場面で利用し、問題解決をすることができる。 観点3 主体的に学習に取り組む態度 文字式を利用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。	・ペーパーテスト ・プリント ・ペーパーテスト ・プリント ・レポート ・授業観察(取り組みなど) ・振り返り
5月 6月	単元2 「平方根」(17) ・平方根 ・根号をふくむ式の計算 数の平方根について理解し、数の概念の理解をいっそう深めるとともに、数を用いて物事を広く、深く考察・処理することができるようにする。	観点1 知識・技能 数の平方根の必要性和意味を理解し、平方根をふくむ計算ができる。 観点2 思考・判断・表現 平方根を具体的な場面で利用し、問題解決をすることができる。 観点3 主体的に学習に取り組む態度 平方根について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。	・ペーパーテスト ・プリント ・ペーパーテスト ・プリント ・レポート ・授業観察(取り組みなど) ・振り返り
6月 7月 9月	単元3 「2次方程式」(16) ・2次方程式 ・2次方程式の利用 2次方程式やその解法について理解し、2次方程式を解いたり、2次方程式を用いて実際の問題を解決したり、考察したりすることができるようにする。	観点1 知識・技能 2次方程式の必要性和意味およびその解の意味を理解し、2次方程式を解くことができる。 観点2 思考・判断・表現 2次方程式を具体的な場面で利用し、問題解決をすることができる。 観点3 主体的に学習に取り組む態度 2次方程式を利用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。	・ペーパーテスト ・プリント ・ペーパーテスト ・プリント ・レポート ・授業観察(取り組みなど) ・振り返り
7月 9月 10月	単元4 「関数 $y = ax^2$」(16) ・関数 $y = ax^2$ ・関数の利用 具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、表、グラフ、式を使ってそれらの変化や対応の様子を調べることを通して、関数 $y = ax^2$ について理解する。	観点1 知識・技能 関数 $y = ax^2$ の意味を理解し、表、式、グラフに表すことができる。 観点2 思考・判断・表現 関数 $y = ax^2$ を具体的な場面で利用し、問題解決をすることができる。 観点3 主体的に学習に取り組む態度 関数 $y = ax^2$ を利用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。	・ペーパーテスト ・プリント ・ペーパーテスト ・プリント ・レポート ・授業観察(取り組みなど) ・振り返り
10月 11月	単元5 「相似」(23) ・相似な図形 ・平行線と線分の比 ・相似の利用 図形の相似の概念を明らかにし、三角形の相似条件などを基にして図形の性質を確かめ、論理的に考察し表現する力を伸ばし、相似の考えが活用できるようにする。	観点1 知識・技能 平面図形の相似や基本的な立体の相似の意味を理解し、相似条件や日の関係を理解することができる。 観点2 思考・判断・表現 相似な図形の性質を具体的な場面で利用し、問題解決をすることができる。 観点3 主体的に学習に取り組む態度 相似を利用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。	・ペーパーテスト ・プリント ・ペーパーテスト ・プリント ・レポート ・授業観察(取り組みなど) ・振り返り
11月 12月	単元6 「円」(10) ・円 観察、操作や実験などの活動を通して、円周角と中心角の関係を見いだして理解し、それを用いて論理的に考察し表現できるようにする。	観点1 知識・技能 円周角と中心角の関係の意味を理解し、角の大きさを求めることができる。 観点2 思考・判断・表現 円周角と中心角の関係を具体的な場面で利用し、問題解決をすることができる。	・ペーパーテスト ・プリント ・ペーパーテスト ・プリント ・レポート

		観点3 主体的に学習に取り組む態度 円を利用した問題解決の過程を振り返り、評価・改善することができる。	・授業観察（取り組みなど） ・振り返り
12月 1月	単元7 「三平方の定理」(15) ・三平方の定理 ・三平方の定理の利用 観察、操作や実験などの活動を通して、三平方の定理を見いだして理解し、それをを用いて考察したり、活用したりできるようにする。	観点1 知識・技能 三平方の定理の意味を理解し、定理を利用して求めることができる。	・ペーパーテスト ・プリント
		観点2 思考・判断・表現 三平方の定理を具体的な場面で利用し、問題解決をすることができる。	・ペーパーテスト ・プリント ・レポート
		観点3 主体的に学習に取り組む態度 三平方の定理を利用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。	・授業観察（取り組みなど） ・振り返り
1月 2月	単元8 「標本調査」(8) ・母集団と標本 観察、操作や実験などの活動を通して、母集団から標本を取り出し、標本の傾向を調べ、母集団の傾向が読み取れることを理解し、その考えを活用できるようにする。	観点1 知識・技能 標本調査の必要性と意味を理解し、無作為に標本を取り出し、整理できる。	・ペーパーテスト ・プリント
		観点2 思考・判断・表現 標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断することができる。	・ペーパーテスト ・プリント ・レポート
		観点3 主体的に学習に取り組む態度 標本調査を利用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。	・授業観察（取り組みなど） ・振り返り
2月 3月	3年間のまとめ(17)		・授業内課題